

茨木市民憲章

わたしたち 茨木市民は

一、心をあわせて
あすの力をそだてましょう

一、仕事にはげんで
明るい家庭をきずきましょう

一、環境をととのえて
美しいまちをつくりましょう

一、さまりをまもって
良い風習をひろめましょう

一、教養をふかめて
みんなの文化をたかめましょう

まちづくりの友



編集・発行

茨木市住みよいまちづくり協議会

事務局

茨木市市民文化部市民協働推進課内

電話：072-620-1604 (ダイヤルイン)

年末市内一斉清掃を実施 約2万人が参加

詳しくは2ページへ



たくさんの方々が参加 セレモニーの様子



市長も参加されました



会長あいさつ



みなさんのご協力によりまちがきれいになりました

回
覧

茨木市にある追手門学院大学と立命館大学の学生5人に住みよいまちづくり協議会の活動に参加していただき、「まちづくりの友」の記事を作成していただきました。

..... 詳しくは4.5ページへ





年末市内一斉清掃

市内全域で、自治会・老人クラブなど325団体 20,695人が参加！
皆さんの力で、市全体のごみ収集量は、48.5ト(収集車両延べ37台分)



昨年12月4日(日)に、3年ぶりに年末市内一斉清掃が、市内全域で実施されました。当日は、天候にめぐまれ、たくさんの人が集まりました。セレモニーを行った後、(株)ハウスビルシステム、NPO法人コンパストウキョウジャパン、西日本高速道路エンジニアリング関西(株)大阪点検事務所、西日本高速道路ファシリティーズ(株)、(株)ジェイコムウエスト、第一生命保険、構成団体、市職員、本協議会役員等210人がJR・阪急両駅周辺等の主要道路の清掃を実施しました。

また、構成団体である自治会等については、今回、325団体、20,695人が参加されました。あり

がとうございました。なお、今回のごみ収集量は、約48.5トン(収集車両延べ37台分)でした。

市内一斉清掃は、茨木市の恒例行事として続いてきた歴史ある行事です。これほど多くの参加者が集い継続できているのは、地域をきれいにしようという皆さんの気持ちがあつてこそです。今後も、市民憲章の「環境をととのえて 美しいまちをつくりましょう」の実践活動として、清掃活動や緑化推進などに取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。



年末市内一斉清掃用ごみ袋の協賛金についてご協力をいただきありがとうございました。

昨年12月4日(日)に、市内全域で実施されました年末市内一斉清掃で使用するごみ袋について、下記の29団体・企業に協賛金のご協力をいただきました。ご協力いただきました協賛金は81万円で、ごみ袋34,000枚を作成し、清掃実施自治会・老人クラブへ配布するとともに、当日の清掃活動にも使用し有意義に活用いたしました。

【協賛にご協力いただいた団体・企業】敬称略

茨木商工会議所、茨木市商業団体連合会、茨木市委託ゴミ業務品質向上協議会、(一社)茨木青年会議所、茨木フェスティバル協会、茨木オークライオンズクラブ、ロータリークラブ(茨木・茨木東・茨木西)、ゴウダ(株)、橋本食糧工業(株)、北おおさか信用金庫、

日東電工(株)、エスケー化研(株)、(株)掛谷工務店、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)、日本たばこ産業(株)、(株)神戸製鋼所、(株)吉野工業所、東洋製罐(株)、大和製罐(株)、大和運送(株)、早稲田摂陵中・高等学校・向陽台高等学校、追手門学院大学・校友会、藍野大学・藍野大学短期大学部・藍野高等学校、立命館大学、大阪行岡医療大学、梅花女子大学、茨木市農業振興団体連合会・茨木市花卉園芸振興会

★本協議会では、協賛金を募集しております。協賛金のお申込は、事務局(市・市民協働推進課：072-620-1604)までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

くらしの中の花いっぱいコンクール募集中!

みなさんの自宅や、近所の玄関先等を花でいっぱいにし、道行く人をなごませているお宅はありませんか。

応募方法

自薦他薦は問いませんので、推薦者・被推薦者のご連絡先、写真等を添えて事務局までご提出ください。

※一年中を通して花でいっぱいにしていること ※道路等に出ていないこと
※外から見て花がいっぱいになっているのが見えること

実地調査後、環境部会で審査し、優秀事例を決定します。また、本協議会の5月の定期総会にて表彰いたします。皆さまのご応募をお待ちしております。

令和4年度受賞写真



市民憲章運動推進第56回全国大会 福知山大会参加報告

令和4年11月19日(土)、「明智光秀公ゆかりの城下町」福知山市で、「次代を担う若者にエールを」をテーマとして全国大会が開催されました。元公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長、参議院議員の橋本聖子さんの記念講演会が行われました。司会を、福知山高等学校の放送部が行い、大会オープニングでは、福知山淑徳高等学校の淑徳和太鼓部が和太鼓を披露し、まちづくり実践発表では、淑徳高等学校3年生による発表や、福知山高等学校・附属中学校、

福知山成美高等学校吹奏楽部による合同演奏が行われ、次世代を担う学生たちが大活躍されていました。事務局も含めて9人で参加し、大変有意義な楽しい一日となりました。



淑徳和太鼓部



橋本 聖子氏

自転車マナー・交通マナースクール

「自転車マナー・交通マナースクール」を昨年11月9日に畑田小学校、11月16日に水尾小学校、12月7日に中津小学校において、日本自動車連盟(JAF)の協力のもと開催しました。

JAFの皆さまには、自動車を持ち込んでいただき、自動車の運転手から見た死角や制動等の実

験や、安全な自転車マナーを教えていただきました。車はすぐには停まらないこと、運転手には死角が多くあることなど、学ぶことがたくさんありました。参加した子どもたちには、自転車の交通ルールを守ることの大切さを学んでいただきました。



畑田小学校



水尾小学校



中津小学校

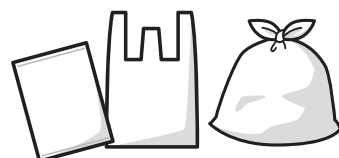
「安全・安心まちづくりの日」キャンペーン

「安全・安心まちづくりの日キャンペーン」を昨年10月11日に阪急茨木市駅周辺において、防犯協会と合同で実施しました。当日は、ひったくり防止カバーや特殊詐欺被害防止に関するチラシを配付し、被害防止に関する説明をしました。結果、たくさんのかたに自転車の前カバーを配布することができました。



地域での清掃活動で使用するごみ袋を配布しています。

一団体につき、年1回、3冊(1冊10枚入り)まで 詳しくは事務局まで
※数に限りがありますので在庫がなくなり次第終了です。



おにが来なくなるほど楽しい おにクル

今年の秋にオープンする茨木の新ランドマークとなる新施設・広場「おにクル」について大学生5人でインタビューしてきました！

大学生5人で見てきました！



●茨木のランドマークとなる新施設の誕生

市民会館跡地エリアの整備は「竹中工務店・伊東豊雄建築設計事務所共同企業体」が手掛けていますが、その他にも茨木市に縁のある方たちが関わっておられます。まず、2階のテラスでは、スタジオジブリの『耳をすませば』で背景美術を手掛けた茨木市在住の画家、井上直久さんがデザインした「おはなしのいえ」があります。さらに、南側の壁面には、茨木高校出身の彫刻家、名和晃平さんによる円環状のアートワークがあります。夕暮れ頃になると、円環の内外に配置されたLED照明プログラムが作動し、天体の運行や大きな時間の流れを想起させる光の表現で演出されます。

●「縦の道」の理念

7層の床を貫く吹き抜け空間と、それを回遊するようにエスカレーターで登る「縦の道」。

他の階の音や香りが伝わったり、目的の階に行きながら他の階のイベントが見えてちょっと行ってみたくなる、など、それぞれ別の目的で訪れた人をつなぐ役割を持っています。

各フロアの事業や取り組みも、縦割りとせず連携しながら相乗効果を図っていくとのことです。



新しい茨木市のランドマーク

●市民会館跡地活用推進課の職員に色々聞いてみました♪

Q1 なぜおにクルを建設することにしたのですか？

A1 旧市民会館の閉館を機に建て替えを決めたのではなく、市民との対話により、まちづくりとして市民会館跡地エリアをどのような場所にしていくのが良いか市民と考え、建設することになりました。

Q2 「おにクル」とはどんな場所ですか？

A2 行事や発表など茨木市民にとっての「特別な場所」、そして普段から気軽に立ち寄れるような「居心地の良い場所」です。

Q3 市外の方も利用が可能ですか？

A3 市外の方も利用いただけます。

Q4 ユニバーサルデザインは？

A4 全館通して誰でも施設を快適に使用できます。例えば、エレベーターを30人乗りとしてストレッチャーの乗り入れを容易にしたり、段差を極力なくしたり、館内のサインはユニバーサルカラーに配慮しています。

Q5 おにクルには芝生など緑が多いですが理由は何ですか？

A5 立地から、中心市街地の都市軸と、元茨木川緑地などの自然軸を捉えて、その調和を図ったのがおにクルなので、緑豊かになっています。アンケートやワークショップでは、公園・広場が必要との意見が多く見られました。

Q6 各フロアの配置意図は？

A6 子育て関連とカフェは芝生広場との相乗効果を期待し低層階に。図書館は一定の面積を確保するためメインフロアを上層階に配置するほか各フロアの特徴に沿った書架を設置。ホールは敷地形状や景観などに配慮して南側がベストと判断。プラネタリウムは、高さのあるドーム空間が必要なため最上階に。



どんな施設が出来るんだろう？

Q7 ターゲット層はありますか？

A7 子育て支援機能など特定の施設機能におけるターゲット層はありますが、おにクル全体としてはターゲット層があるわけではありません。

Q8 1番の見どころは何ですか？

A8 ハード面は、他フロアの音や雰囲気をあえて感じられるように設計された「縦の道」です。ソフト面は、整備計画から設計・工事まで、一連の過程で日本一と言えるくらい多くの市民が参加した「育てる広場」という取り組みです。

Q9 地域リーダーの創出を想定した場ですか？

A9 リーダーより活動する人を増やすことに主眼を置いています。活動のコーディネートなど、ソフト的な支援をしています。

Q10 今後のおにクルで何をしてみたいですか？

A10 図書館×子育てといった多機能連携の事業展開です。



子育て支援施設が出来るのね



7階まで出来上がりました

学生からの一言～取材を通して～



追手門学院大学
羽指 龍さん

本日このような取材をさせていただき、広報やリーフレットにはない貴重な情報を知る事が出来ました。その情報を本紙には詰め込んでいます。取材をして一番印象に残っていることは、「縦の道」です。ここは、「縦の道」の相乗効果により設計コンセプトの“日々何かが起こり、誰かと出会う”の根幹を担う箇所だからです。そこに茨木市の工夫が詰まっていることを取材で確認できました。これを念頭におにクルを探索すれば、おにだけでなく、茨木市の努力も随所に見えてクルのではないのでしょうか。

この度、おにクルの取材をさせていただき、茨木市の中心部に革新的な施設が建設されている事を知りました。おにクルでは子供から高齢の方まで幅広い世代の人たちが集う場所なので、様々な人と交流してより地域の輪が広がる、そんな施設になることが分かりました。完成までまだ少し時間がありますが、各種イベントも実施される予定もあるので、今後のおにクルにも注目していきたいです。



追手門学院大学
越智 匠哉さん



追手門学院大学
田邊 宙さん

今回、茨木市住みよいまちづくり協議会の機関紙「まちづくりの友」の学生編集委員として、建設中のおにクルについて取材と記事づくりを通して茨木市の新たな魅力を発見することができました。取材を通して一番印象に残っている点は、各フロアの空間づくりです。なぜなら、メインホールでは多様な使い方ができて、「あみだす・はみだす」というコンセプトは、非常に魅力的です。また、その他にも市民活動センターでは「みんなのえんがわ」、屋内こども広場では「まちなかの森」など、各フロアのコンセプトから様々な工夫が読み取れて、魅力的でした。全体を通して、多くの人が色々なことに関わって楽しめる空間が用意されていると感じました。



立命館大学
福本 日向詩さん

今回の体験を通して、茨木市の発展に対してたくさんの人の力や思いが込められていると感じました。その先駆けが、このおにクルです。おにクルは人と人とのつながりを作るための格好の施設です。これからの茨木市民にとって、おにクルが憩いの場になることは間違いないでしょう。私たち学生もこの施設を機に茨木市とのつながりを深めることができれば良いと思いました。



立命館大学
中西 優衣さん

今回このような取材を通して茨木市がとても市民と市を大切にしていることが深く感じられました。このおにクルという施設が建つということは、茨木市にとって発展の大きなきっかけになるのでは非沢山のの人に愛される施設になって欲しいと思います。

中川家の人々 後編

当会総務部副部長 平松 克一

秀吉が美濃方面に転身している隙を突いて、柴田勝家一番弟子の鬼の玄蕃こと佐久間盛政によって賤ヶ岳の砦を急襲され当主中川清秀を失った中川家のその後は…

長男秀政の失敗

家督は長男の秀政が相続、秀吉から清秀の功が認められ13万石に加増され、格別の待遇を受けるも朝鮮出兵の際に鷹狩りに興じていて野武士に遭遇。あえなく戦死となる。改易を恐れた家臣たちがこれを隠匿し、後に秀吉の怒りを買って6万石に減封される。秀吉の特別の計らいによりお家断絶は免れ、次男秀成に跡目相続させているが以後、秀吉は不用心にて戦死した場合は跡目相続を認めない旨の通達を出している。



佐久間玄蕃盛政像

次男秀成の苦悩

石高も半減され、茨木から播磨国三木城主として国入りする際にも、秀成を迎える三木城下の領民たちも比較的冷たく、秀成も下座して迎えない領民をその場で切り捨て、威厳を示したと言われる。

七歳年上の虎姫との出逢い

父の仇でもある佐久間盛政の処刑に秀吉から立ち合いを命ぜられ、意見を求められるが、この盛政殿も立派な武将であり、恨みつらみもないと述べ、盛政(30歳)は秀政と秀成の言葉に心打たれ、残していく娘虎姫の婿にとの一言にその場で秀吉は秀成に虎姫を嫁に迎えと命令、虎姫を新庄直頼の養女となして養わせ、後に秀成に嫁がせた。この2人が結ばれるには両家の驚きと反対の渦に巻き込まれ、実に10年の月日が経っていたのである。その間、秀成は、秀吉から豊後国に7万4千石の所領を与えられ移封する。(文禄三年1594年)

しかしながら、気の合う二人はこの結婚を成就するため、妙案を考えたのである。

日本初の長距離恋愛

二人は一緒に住むことは難しいと考え、虎姫を京都の屋敷に住ませ、秀成は我が城である豊後の地から京都の屋敷に往復千キロの道を通い続け、七人の子どもを設けている。二人の仲の良さが目に浮かぶと同時に生涯に渡って一度も夫の領地に下向していない虎姫の気持ちにも切ないものがある。ただ虎姫の願いは父の菩提寺を建立することと佐久間家の復興であったが、秀成は虎姫の死後、この二つの願いを成就。七人目の子ども勝成を佐久間家に養子として送り、佐久間家を再興させている。ちなみに竹田市の英雄寺と碧雲寺には佐久間盛政・虎姫・久盛の親子三代の位牌とお墓があり、近くのおたまや公園には中川家のお墓があります。戦国時代に翻弄された中川家の人々の人生いかがでしたか? 幸い竹田市と茨木市は姉妹都市です。秀成・虎姫にあやかって縁結びと安産祈願の寺としても有名な英雄寺をぜひお訪ねください。



中川秀成(碧雲寺所蔵)



虎御前

お詫びと訂正

94号「中川家の人々 前編」にて、下記の通り訂正させていただくとともに、関係者の皆さまにご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

【誤】吉田織部 → 【正】古田織部、

【誤】参考文献「戦国武将中川清秀と茨木」 「茨木を知り学会」編

【正】参考文献「戦国武将中川清秀と茨木」 「茨木の歴史を知り学ぶ会」編